

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか。	○		・基準は満たしているが活動内容や保護者の参観等によっては狭く感じることもあるため、工夫して使用しています。
	②	職員の配置数は適切であるか。	○		・基準より、職員を2名多く配置しています。お子さんの様子によっては人手が足りないと感じることもありますが、全員で連携を図って対応しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	○		・エレベーターがなく階段のみですが、今のところ問題はありません。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・常勤のスタッフは、毎日のミーティングや会議で振り返りを行っています。会議等に出ていないスタッフには会議録を回覧したり、情報を得るようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して、事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○		・評価表の結果を会議で報告し、改善が必要な点は話し合いをしています。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○		・評価表の結果を会議で報告し、法人ホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者評価は受審できていません。 ・今後、受審に努めます。
	⑧	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○		・外部研修に参加したり、法人内では法人全体研修、階層別の研修、虐待防止、権利擁護、感染症対策等、様々な研修の機会があります。
適切	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者に意向調査票を記入していただき、保護者のニーズや一人ひとりの発達段階を踏まえて作成しています。 ・アセスメントも職員間で共有し、より適切な支援計画作成に向けて日々取り組んでいます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○		
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、	○		・支援会議を行い、一人ひとりにあった個別支援計画の作成に努めています。

な 支 援 の 提 供		その上で具体的な支援内容が設定されているか。			
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	○		・常に振り返りながら、活動内容を考えたり支援を行っています。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・様々なスタッフが活動プログラムの立案に携わっています。
	⑭	活動プログラムが固定しないように工夫しているか。	○		・固定化しないように配慮をしていますが、同じ活動を繰り返してしまうこともあります。特に屋外活動はリスクが高く、あまり実施出来ていません。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて、児童発達支援計画を作成しているか。	○		
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをして、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		・朝のミーティングでその日のリスクマネジメントを共有しあっています。 ・前日夕方にもミーティングや個々にスタッフ間で打ち合わせをしています。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		・一日の終わりにミーティングで、その日の振り返りを行っています。 ・支援終了後の打ち合わせでは子どもたちの行動、考えられる理由など意見も出し合い、翌日以降の支援に繋がる振り返りが出来ています。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		・半年に一度行っています。
関 係 機 関	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		
	㉑	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	○		・保健センターや子ども家庭支援センター等の関係者と連携して対応しているケースがあります。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	○		・現在、対象になるお子さんが在籍していません。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場	○		・現在、対象になるお子さんが在籍していません。

や 保 護 者 と の 連 携		合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。			
	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	㉑	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・スマイルプランを作成して情報を共有しています。また、スマイルプランに加えて、面談やお電話での引継ぎも行っています。
	㉒	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○		・毎年、あおぞらキッズ主催の発達障がい研修にスタッフを派遣していますが、今年度は都合により参加できませんでした。 ・市内の児童発達支援センターとは、情報共有や研修等で、連携を図るようにしています。
	㉓	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか。		○	・当事業所にしか通っていないお子さんにはそのような機会がないため、今後検討していきます。
	㉔	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・自立支援協議会本会やこども部会、障害児支援連絡会等に、幹事や参加者として、積極的に参画しています。
	㉕	日頃から子どもの状況を家族と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について、共通理解を持っているか。	○		・その日の様子を毎日連絡帳に記入し、保護者と様子を共有しています。また、必要に応じて相談にも対応しています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任	㉖	保護者の対応力の向上を図る視点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	○		・今年度は、保護者向け講習会「リフレーミング」、「家庭で出来る遊びや関わり」を実施しました。
	㉗	運営規定、利用者負担等について、丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に、文書を提示して説明し、ご理解いただけるようにしています。
	㉘	児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・児童発達ガイドラインについては、保護者会や資料で周知を図っています。支援計画は、ガイドラインに基づいて作成し、支援内容を保護者に説明し、同意を得ています。
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談事や必要に応じて電話や面談を行い、対応をしています。内容について職員間で共有も出来ているので、適切な対応がとれています。
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	○		・父母の会はありません。 ・保護者同士の交流の場については、懇談会等を行いました。昨年度よりも回数を多く設けました。

等	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に、迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月、保護者向け委におたよりを作成し、活動の様子やどのように過ごしているのかを分かりやすく伝えています。
	③⑦	個人情報の取り扱いに十分注意をしているか。	○		
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんには絵カードやジェスチャー、ホワイトボード、具体物などを使って伝えています。 ・情報伝達のツールを整備し、それぞれの家庭が伝えやすい手段（連絡帳、電話、メールなど）を選べるようにしています。
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域の方にも利用していただけるよう、定期的におもちゃ図書館を開催し、地域のボランティアセンターでボランティアを募集し、参加していただいています。
非常時の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルの策定はしていますが、周知や訓練については今後の課題となっています。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	○		
	④⑫	事前に、予防接種や、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	○		・毎日支援後のミーティングでヒヤリハットの報告をし、記録に残しています。また、会議で内容を確認し合い、防止に努めています。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	○		
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定して、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束マニュアルや記録を整備しています。どのような対応を行うのかについては、契約時に保護者に説明していますが、現在までに実行したことはありません。